



**社員を守るには、時間・仕事・仲間・マネジメント・社員への健康への施策が重要!**  
**-2013年度 NTTコムウェアグループ安全衛生セミナー開催-**



NTT 労組  
コムウェア九州分会

発行責任者 権丈 雄二

編集責任者 武藤 和彦

編集担当者 和田 尚之

一月二日(木)、労使共催で「コムウェアグループ安全衛生セミナー」が開催された。(九州会社一名、九州分会七名で参加)

はじめに、労働組合から武谷委員長が、「このセミナーで学んだことを忘れずにそれぞれの職場で活用し生かしてほしい」との挨拶がありました。

次に、(株)日立公共システムエンジニアリング経営企画部長の前田英行氏が、自身の経験に基づき「社員の幸せを考える一プロジェクトマネジャー、経営部門からみたメンタルヘルスマネジメント」について講演がありました。会社で過去に問題を抱えたプロジェクトの事例をいくつか紹介され、社員を守るには、時間・仕事・仲間・マネジメント・社員への健康への施策が重要であることを再認識することができました。また、情報通信産業が他の



産業と比べてメンタルヘルス不調者数が突出して多いことからこの業界で働いている私たちが普段から周りの人たちへの心や体への気遣いを日々行うことの重要性を改めて感じました。

続いて、コムウェア健康管理センター・松永幸治産業医が「職場のメンタルヘルス」について講演がありました。私は、この講演を聞くまで、精神疾患者に対して、「頑張り」等の励ましの言葉は厳禁だと考えていました。ところが、そういうことが重要ではなく、本人の思いを聞いてから対応することや復職後も業務の負荷を軽くし過ぎずいつもの通りに対応することが望ましいことがわかりました。休職中においても、仕事に戻るための休みである

「旗開き2014」の開催日は、平成26年1月8日(水) 18時10分です。皆さんの参加をお待ちしています。



ことから、規則に則った「食事をとる、夜は寝る、酒は飲まない」という生活習慣を守ることが重要であることも学びました。

最後に、各グループ会社・各組織から職場安全衛生会における健康増進対策や安全対策の取り組み状況について報告され全体で情報共有をすることができました。

今後は、本セミナーで学んだ知識や情報を職場の安全衛生委員会の活動に生かし、よりよい職場環境作りを推進したいと思えます。

他の職場での安全衛生委員会と情報共有を図りながら、安全で働きやすい職場づくりに向けて引き続き取り組んでいきます。(太田)

**第72回 全国産業安全衛生大会**

一〇月三〇日(水)～十一月一日(金)、中央労働災害防止協会主催で「第七二回全国産業安全衛生大会」が大阪で開催された。全国各地から延べ一万二千人が大阪城ホールへ集結。(九州会社一名、九州分会一名で参加)

第一日目の総合集会(大阪城ホール)では、式典・功労者に対する表彰等が行われ、特別講演として、開催地である大阪に関わりの深い、建築家・東京大学名誉教授の「安藤忠雄」氏による「夢かけて走れ」と題して、講演があった。第二、三日目は、労働災害防止に関連するテーマ毎に分科会があり、全国の事業場等の改善事例や研究発表をはじめ、各界の専門家による講演・シンポジウム等があった。九州参加メンバーとしては、主に「メンタルヘルス/健康づくり」分科会へ参加した。(武藤)

# VDT作業による健康障害と予防

メンバー共済の事故受付 TEL 070-0886-2424 年末年始も24時間通常通り受付いたします。

## 作業姿勢

- ★背もたれに背を十分に当てる。
- ★肘は90度以上。
- ★腕に余計な負担がかからないようにする。
- ★深く腰掛ける。
- ★椅子は高さ調節ができ、脚部は安定しているものを使用する。



## 1、VDT作業と健康障害

### ★精神的な疲労★

- ・不眠
- ・無気力
- ・虚脱感
- ・焦燥感
- ・イライラ
- ・頭痛…など

### ★目の疲労★

- ・眼精疲労
- ・ドライアイ…など

### ★筋・骨格系の疲労★

- ・腰痛
- ・肩こり…など



十月二三日(日)、福岡市長尾中学校にて、葦の家福祉会が主催で、「わはは祭り二〇一三」がありがとうとうハートでつながるやさしいまちづくりが開催された。コムウェア九州分会から、Fragre(五名)が参加した。当日は、天候にも恵まれ二〇〇名以上の来場者があり、会場は終始賑わった。地域の方々をはじめ三〇〇名以上の方がボランティアとして参加され、ステージ、模擬店、駐車場係など様々な催し物への参加、お手伝いを行った。



## 「わはは祭り」開催

### ボランティアの集まり

今回、私はボランティアとして参加してきました。私は、交差点に立ち信号を渡る人達のサポートをするという仕事を任せられました。あまり車は多くない道ですが、道が直線ということもありスピードが出しやすい場所でした。交差点に何時間も立つのは正直つらいも

のがありました。交差点を渡る方々に「ありがどう。」と言われた事がとても嬉しかったです。私はボランティアを通して、多くの方々と交流することができ、非常に充実した時間を過ごすことができました。また何事もなく祭りが終わったことがよかったです。また、わはは祭りに参加したいと思いました。(末松)